

彩雲

S
A
I
U
N

【彩雲(さいうん)】とは、縁などが美しく色づいた雲を言います。日光が雲の水滴で回折するために生じるもので、昔からよいことの起こる吉兆の雲とされています。

VOL. **14** 【平成28年3月】



〔写真〕患者作品
患者様のリハビリの一環として、また療養の糧及び地域に根ざした活動として、当院で製作した作品です。

矢吹病院の基本理念・基本方針

基本理念

仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

1. 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
2. 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
3. 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
4. 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
5. 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組みます。
6. 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
7. 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。

創立60周年 ～その2～



病院長 横山 昇

前号(第13号)で当院創立60周年の記念事業についてお知らせいたしました。今回はそのご報告と御礼をさせていただきます。昨年10月24日午後、矢吹町文化センター大ホールにおいて創立60周年記念式典と記念講演会を開催いたしました。当日は医療関係のみならず、保健・福祉・行政の各界から400名を超えるご臨席を賜り、お陰様で盛会のうちに終わることができました。この紙面をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。後半の山田法胤薬師寺管長様による「東日本大震災と心のケア」と題した記念講演は正に心に響く法話であり、震災からの復旧・復興に立ち向かう人々に元気と勇気を与えてくれるお話でした。中国から成田経由で福島入りするという強行軍も厭わず、講演を快諾して下さった山田管長様には唯々恐れ入るばかりです。

さて、年が改まった本年1月に、60周年記念事業をもう一つ開催させて頂きました。1月15日の児童思春期シンポジウムです。一昨年の10月に企画したプレ60周年記念事業の続編になります。「子どもとのかかわり方」をテーマに学校関係者のご家族向けに情報を発信いたしました。こちらも200名を超える方々の参加が得られ、子どもたちが抱える様々な問題を共有する有意義なイベントになったと感じています。と同時に、児童思春期精神医療における切実な問題(専門医・病棟の不足)を再認識する機会になったようです。

最後にもう一言。東日本大震災(と原発事故)からの復興に関して今回も少しだけ触れてみます。ご承知のように、先月(2月)から檜葉町において県立の「大野病院附属ふたば復興診療所」が診療を開始しました。同地域にとって朗報であることは確かなのですが、内科常勤医の不在など懸念される材料も残されているため、一抹の不安を感じざるを得ません。同町住民の帰還率はいまだ一割にも達していないそうです。震災後6年目に入った今、記憶が風化しないよう浜通りの復興に関心を持ち続けたいと思います。

福島県立矢吹病院

創立60周年記念式典・講演会

当院は、昭和30年11月1日に精神衛生法に基づき、福島県立矢吹精神病院として開設され、創立60周年を迎えましたが、これを記念し、昨年10月24日に矢吹町文化センターにおいて、記念式典と薬師寺の山田管長による記念講演を行いました。



講演を行いました。

当日は、多数のご来賓や一般県民の皆様にご来場いただき、大変ありがとうございました。

今後、当院は、県民の皆様のごところを支える医療機関を目指し、さらなる努力を続けていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

第3回矢吹病院まつり テーマ「地域とつむぐ」

昨年10月25日の日曜日に第3回矢吹病院まつりを開催しました。

当日は、風が強かったものの、晴天となり、地域の皆様はもとより、町内外の皆様など過去2回を上回る約350名の方々にご来場をいただき、テーマにした「地域とつむぐ」の目的が達成され、成功裏に終えることができました。



今回は、新たな団体の催しや職員による出し物など、これまでと違った企画を試みましたが、来場者からは高評価をいただくことができました。これまで、病院に足を運んだことのない皆様にも病院を知ってもらい良い機会となったと感じています。

今年も新たな企画で、地域の皆様と触れ合える催しとして開催を予定していますので、是非ご来場ください。



児童思春期シンポジウム

こころの問題を抱えた子どもとのかかわり方のコツ

～ご家族と学校関係者に向けての発信～

当院では平成23年8月から児童思春期外来を開設し、子どものこころの問題に取り組んできましたが、こころの問題を抱えた子どもとのかかわり方について、ご家族や学校・行政関係者と一緒に考える機会として、今年1月15日に矢吹町文化センターで児童思春期シンポジウムを開催しました。

今回は、具体的な症例をもとにした家族や学校関係者向けのミニ講座と、参加者の皆様からの質疑への応答、意見交換を行いました。

当日は、保護者や学校関係者、行政機関の皆様など、約230名という多数の参加をいただき、参加者からは「問題解決のヒントが得られ、実践してみたい。」「是非また、話を聞きたい。」等の意見が寄せられました。



家族向けミニ講座
横浜市南部地域療育センター所長
井上 祐紀 先生



学校関係者向けミニ講座
福島県立矢吹病院科長
金澤 壮一 先生



司会進行
福島県発達障がい者支援センター長
増子 博文 先生



児童・思春期外来だより

out patient department of
child and adolescent

当院では、児童・思春期にあたる方を対象にした外来を開設しています。完全予約制で、対象となる方は3歳から18歳までとなります。

子どもたちのこころの問題は、教育や福祉の現場などで課題となっていますが、専門に取り扱う医療機関や医師は全国的にも不足しているため、福島県内でも診療診察は少なく、何ヶ月も診療待ちとなっているのが現状です。

一般の精神科外来とは別の専用の診察室等において、お子様がなごめるような雰囲気心がけて診療を実施しております。



児童思春期外来待合室

平成27年度精神保健業務懇談会を開催しました

平成28年2月19日に平成27年度精神保健業務懇談会を開催し、県中・県南地域の精神保健に関わる職員や保健師に多数ご出席いただきました。

今年度の懇談会では、矢吹病院で今年度より開始したアウトリーチで支援している事例の紹介、今年度のアウトリーチの取り組み状況の紹介、出席者との意見交換をおこないました。意見交換では、病院やアウトリーチ、地域における精神保健のあり方について活発な意見交換がなされました。その結果、今まで以上に地域と病院が連携して精神医療に取り組んでいくことが重要であることが確認され、病院と地域が協力して県中・県南地域の精神医療保健の充実のために取り組んでいくこととなりました。



アウトリーチによる支援をご希望される方がおりましたら、訪問看護室または地域医療連携室までご連絡ください。



栄養管理だより

from
Nutrition Support Service

おいしい病院食レシピ ～白身魚の甘酢あんかけ～

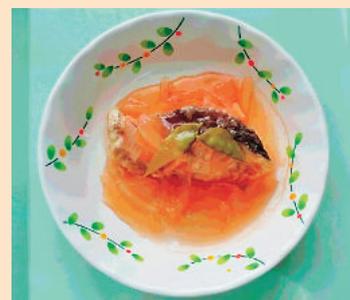
魚料理というと焼き魚や煮魚といった和風の味付けが定番ですが、今回は中華風の味付けにした白身魚の甘酢あんかけをご紹介します。食べごたえがありますが油を使わないので低カロリーです。

【材料 2人分】

・白身魚(たらなど)	2切れ	
・酒	小さじ1	
・たまねぎ	1/2個	
A {	・砂糖	小さじ2
	・酢	小さじ2
	・ケチャップ	大さじ1
	・しょうゆ	小さじ1/2
	・鶏がらスープの素	小さじ1/2
・水	1/2カップ	
B {	・片栗粉	小さじ1
	・水	大さじ1
・きぬさや	10g	

【作り方】

- ①白身魚に酒を振り、ふんわりとラップをして電子レンジで加熱(500Wで3分程度)する
- ②きぬさやはゆでて細く切る
- ③Aを混ぜておく
- ④たまねぎは薄切りにする
- ⑤フライパンにAと④をいれて火にかける
- ⑥たまねぎに火が通り透明になったら火を止め、Bの水溶き片栗粉を入れてよく混ぜる
- ⑦①の魚に⑥のあんをかけてきぬさを乗せる



【ポイント】

魚を加熱する際には、時間が長いと魚がパサついてしまうことがありますので、最初は少し時間を短めに設定して様子を見ながら加熱してみてください。

【一人分の栄養価(たら1切れ70gの場合)】

エネルギー 109Kcal タンパク質13.9g 脂質0.2g 塩分1.4g

科別	氏名	職名	専門分野
精神科	横山 昇	病院長	精神科一般
	佐藤 浩司	副院長	精神科一般
	金澤 壮一	科部長	精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む)
	石川 大道	科長	精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む)
	小野口 豪	医長	精神科一般
内科	宗像 修	副院長	消化器内科

外来診療のご案内

●外来診療日

診療科	受付時間	診療時間	月	火	水	木	金	土
精神科一般 内 科	午前	8:30~ 11:00	○	○	○	○	○	-
	午後	13:00~ 15:00	○	○	○	○	○	-
児童思春期 外 来	午前	全て予約制	○	○	医大 (月1回)	-	医大 (月1回)	応援医 (第3土曜)
	午後		-	○	-	○	-	応援医 (第3土曜)

※祝祭日及び年末年始を除きます。

※○印は当院常勤医師です。

※休診や診療日変更の場合がありますので、予約の際にご確認をお願いします。

●予約診療について

☆ 精神科一般 新患 ~予約の受付を行っています。

※新患の診察は、月曜日から金曜日まで行っています。

☆ 精神科一般 再診 ~予約の受付を行っています。

☆ 児童思春期外来 ~全て予約が必要です。

☆ 内 科 ~予約なしで受診できます。

〔新患予約窓口〕 地域医療連携室(児童思春期外来含む)

電話：0248-44-2051(直通) 9:00~16:30(月曜日から金曜日)

〔再診予約窓口〕 事務部医事窓口

電話：0248-42-3111(代表) 8:30~12:00 13:00~17:00(月曜日から金曜日)

※担当医の診察日については、当院のホームページをご覧ください。

代診・休診についても、ホームページでお知らせしております。



交通のご案内

●JR矢吹駅より徒歩20分。JR矢吹駅(西口)と当院を結ぶ送迎バスも運行しております。

<送迎バス時刻表>

※病院正面玄関前からご乗車できます。



迎え	JR矢吹駅 → 矢吹病院
1便	8:10発
2便	8:45発
3便	9:45発

送り	矢吹病院 → JR矢吹駅
1便	9:25発
2便	10:50発
3便	11:20発
4便	14:30発
5便	15:25発

※JRのダイヤ改正により、送迎バス時刻が変更になることもあります。詳細については、事務部までお問い合わせください。

☎0248-42-3111

発行 ● 福島県立矢吹病院

〒969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100 TEL0248-42-3111 FAX0248-44-2551

🏠 ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25140a>